	相互変調特性
2　1以外の場合	希望波の周波数から（±）一、一〇〇kHz離れた周波数において、希望波の受信電力より五〇・四デシベル高い変調された妨害波を加えた場合に、九五%以上の信頼度でパケット誤り率が一%以下

第二項を第一項とする。

第三項第二号中「一、七四九・九MHz」を「一、七四四・九MHz」に改め、同項第三号中「一、七四九・九MHz」を「一、七四四・九MHz」に改め、同項第四号中「又は毎秒三・六八六四メガチップ」を削り、同項を第二項とする。

第四項を第三項とし、第五項を第四項とし、第六項を第五項とする。

第七項第一号の表中「一、七四九・九MHz」を「一、七四四・九MHz」に改め、同項を第六項とする。

第八項を第七項とし、第九項を第八項とする。

第十項の表を次のように改める。

			特性	相互変調特性	実効選択度	
項目					スプリアス・レスポンス	隣接チャネル選択度
感度						
一　変調方式がマルチサブキャリア一六値直交振幅変調方式のもの 規格感度（符号基準感度（送信装置の送信速度の許容値と同じ送信速度の標準符号化試験信号（符号長五一一ビットの二値擬似雑音を繰り返す信号をいう。以下同じ。）で変調された希望波を加えた場合において、符号長二、五五六ビットの信号に対するビット誤り率が百分の一となる受信機入力電圧をいう。）の規格値をいう。以下同じ。）が九デシベル（一マイクロボルトを〇デシベルとする。） 二　変調方式が四分のπシフト四相位相変調方式のもの 規格感度が六デシベル（一マイクロボルトを〇デシベルとする。）			特性	希望波の周波数から（±）九〇〇Hz及び（±）一、七〇〇kHz（複号同順とする。）離れた周波数において、それぞれ移動局シミュレータの出力より七二デシベル高い二つの変調のない妨害波を同時に加えた場合に、移動局シミュレータの出力が三デシベル以上昇せず、かつ、九五%以上の信頼度でパケット誤り率が一%以下	規格感度より三デシベル高い希望波入力電圧を加えた状態の下で、変調のない妨害波を加えた場合において、ビット誤り率が百分の一となるときのその妨害波入力電圧と規格感度との比が五三デシベル	規格感度より三デシベル高い希望波入力電圧を加えた状態の下で、希望波から二五kHz離れた符号長三二、七六七ビットの二値疑似雑音を繰り返す信号で変調された妨害波を加えた場合において、ビット誤り率が百分の一となるときのその妨害波入力電圧と規格感度との比が四二デシベル
		基地局		希望波の周波数から（±）一・二五MHz及び（±）二・〇五MHz（複号同順とする。）離れた周波数において、それぞれ移動局シミュレータの出力より七〇デシベル高い二つの変調のない妨害波を同時に加えた場合に、移動局シミュレータの出力が三デシベル以上昇せず、かつ、九五%以上の信頼度でフレーム誤り率が一・五%以下	希望波の周波数から（±）七五〇kHz及び（±）九〇〇kHz離れた周波数において、それぞれ移動局シミュレータの出力より五〇デシベル高い変調のない妨害波及び八七デシベル高い変調のない妨害波を加えた場合に、移動局シミュレータの出力が三デシベル以上昇せず、かつ、九五%以上の信頼度でパケット誤り率が一・五%以下	
		陸上移動局		希望波の一・二三MHzの帯域幅におけるデシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）及び（一）二五デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）の場合に、それぞれ九五%以上の信頼度でパケット誤り率が〇・五%以下 1　時分割・符号分割多重方式携帯無線通信を行う無線設備の空中線又は当該無線設備が符号分割多元接続方式携帯無線通信を行う無線設備と共用する空中線から二又は三の搬送波を同時に送信する場合 希望波の周波数から（±）一、一〇〇kHz離れた周波数において、希望波の受信電力より四二・四デシベル高い場合に、九五%以上の信頼度でパケット誤り率が一%以下	希望波の一・二三MHzの帯域幅におけるデシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）及び（一）一〇四デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）及び（一）二五デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）の場合に、それぞれ九五%以上の信頼度でパケット誤り率が〇・五%以下	
			性	搬送波の数が一のものにあつては希望波の受信電力を（一）一〇〇デシベル（一ミリワットを〇デシベルとする。）とした場合に希望波の周波数から（±）二・五MHz及び（±）四・九MHz（複号同順とする。）離れた周波数において当該受信電力より五三デシベル高い二つの変調のない妨害波を同時に加えた場合に、搬送波の数が三のものにあつては当該三の搬送波の受信電力の総和を（一）九デシベルとする。）とした場合に当該三の搬送波のうち中心のものの周波数から（±）五MHz及び（±）九・七MHz（複号同順とする。）離れた周波数において当該受信電力より五デシベル高い二つの変調のない妨害波を同時に加えた場合に、九五%以上の信頼度でフレーム誤り率が一%以下		
			特性	相互変調特性	スプリアス・レスポンス	実効選択度